



みてたんせ

〒019-0508 横手市十文字町十五野新田字増田道東19番地
☎ 0182-23-6777・FAX 0182-42-2165



二月になって

三重地区交流センター
センター長 高橋 信雄

先日、長く三重公民館の館長をしていただいた内山純男さんの葬儀が執り行われました。昭和から平成の新時代の様々な波の中、三重公民館の中心となって私たちをご指導いただきました。また、三重地区交流センター設立にあたっても甚大なご協力をいただき、三重地区にはなくてはならない方であったと思います。心から感謝を申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

さて、暦の上では春の始まりとなる2月ですが、1年のうちで一番寒い季節となります。2月の和名は「如月（きさらぎ）」といいますが、この由来は2月の寒さから「着更着（＝衣をさらに着る）」とされた説が有力とされています。また、忙しく立ち働いたお嫁さんたちも一休みできるようにと「女正月」とも言われたそうです。

今年も例年になく暖かい日が続いていますが、この時期は「かまくら」「犬っ子祭り」「どんど焼き」など各地の小正月行事が思い浮かびます。無病息災や豊作を祈ったとされます。

何はともあれ、今年は巳年「脱皮をして成長」とチマタでは言われていますが、古くから「日照りにケカチなし」「巳年のケカチ」と言われています。さて、今年はどうなるのでしょうか。温暖化が進んでいますが、どうか「平穏無事」な年であってほしいものです。



～ 季節ごよみ 「初午(はつうま)」 ～

初午（はつうま）という言葉は2月最初の「午の日」からきており、和銅4年（711年）2月初午の日に穀物の神様・稲荷大神が稲荷山に鎮座した縁の日なので、その年の2月最初の午の日を初午と呼び、年ごとに変わるそうです。今年も2月6日ですが、全国各地の稲荷神社では「初午祭」が行われ、五穀豊穡、商売繁盛、産業興隆、家内安全、交通安全、芸能上達の守護神として信仰されており、御利益祈願のために多くの人が稲荷神社を訪れているそうです。（参考：じゃらんニュース）



●三重地区交流センター運営協議会 スポーツ交流推進部事業 「バレーボール交流会」を開催！ 令和7年1月19日(日)



三重地区の6自治会「荒田目・四ツ屋」「八兵工丁」「新処・上野村」「学校通り」の高校生以上が参加して、楽しみながら交流を深めました。来年はもっと参加チームが増えよりにぎやかな交流会になってほしいですね。



★優勝の荒田目・四ツ屋チーム

●三重地区交流センター運営協議会 文化郷土部事業 「歴史めぐり～増田の内蔵見学～」を開催！ 令和7年2月2日(日)



初めての歴史めぐりとして増田の内蔵見学に行ってきました。24名が参加し、訪問先店主の方にガイドしていただきながら、内蔵の役割と、江戸時代から近代まで続いてきた養蚕や葉タバコ等産業や物流についてのお話も含め、興味深い蔵の歴史に耳を傾けてきました。天候にも恵まれましたが、参加者は期待以上のすばらしさに感嘆している様子でした。

